



2023年8月10日

各 位

会社名 前田工織株式会社
代表者名 代表取締役社長兼COO 前田尚宏
(コード番号:7821 東証プライム)
問合せ先 取締役 常務執行役員 斉藤康雄
(TEL. 0776-51-3535)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、第52期（2024年6月期）を初年度とする中期経営計画「グローバルビジョン∞ -PART II-」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

当社グループでは、経営戦略の具体策として、2019年11月1日に中長期ビジョンである『グローバルビジョン∞』を公表いたしました。この実現に向けた施策として「①既存事業の強化と新規事業進出」「②成長戦略としてのM&A活用」「③新たなマーケットを求めめるためのグローバルネットワーク拡充」を掲げております。これら施策を遂行するため、既存事業については、高付加価値な製品・工法を提供するための研究開発や生産能力の増強を目的とした設備投資を積極的に行っております。また、既存の事業領域の枠に捉われず、新規事業分野にも積極的に取り組むため、M&Aの実践を継続するとともに、これまでのM&Aで培った実績とノウハウを活用しながら、事業シナジーの創出を目指した投資育成事業も推進しております。さらに、国内外の技術や販売ネットワークを活用し、グローバルに展開していくことで、当社グループ製品の市場拡大を目指しております。

そのグローバルビジョン∞の第一弾となる「PART I」（2020年度～2023年度）では、上記「①既存事業の強化と新規事業進出」を重点施策として位置付け取り組んだ結果、4か年計画の最終年度となる2023年6月期の計画目標である売上高500億円、営業利益80億円に対し、売上高502億円、営業利益84億円を達成いたしました。

当社グループでは、次期の中期経営計画となるグローバルビジョン∞「PART II」（2024年度～2027年度）を策定いたしました。PART IIの最終年度となる2027年6月期には、売上高700億円、営業利益120億円を実現する見通しです。

中期経営計画の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上

MDKグループ中長期ビジョン

グローバルビジョン∞

- PART II -

2023.08.10

目次

1	企業概要	3
2	グローバルビジョン [∞] -PART I - の振り返り	11
3	今後の事業環境と長期ビジョン	15
4	グローバルビジョン [∞] -PART II - 数値目標	20
5	グローバルビジョン [∞] -PART II - 主要戦略	24





1

企業概要



企業情報

(2023年6月30日現在)

会社名	前田工織株式会社		
本社	福井本社: 福井県坂井市春江町沖布目38-3 東京本社: 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F		
代表者名	代表取締役会長 前田 征利 代表取締役社長 前田 尚宏		
創業	1918年	設立	1972年
決算	6月30日	資本金	3,472百万円
従業員数	1,575人(役員、嘱託・パート、実習生、派遣を含む)		
発行済株式数	32,260,200株 (うち自己株式 1,901,149株)		
証券コード	7821(東京証券取引所プライム市場)		
単元株数	100株	株主総数	3,248名

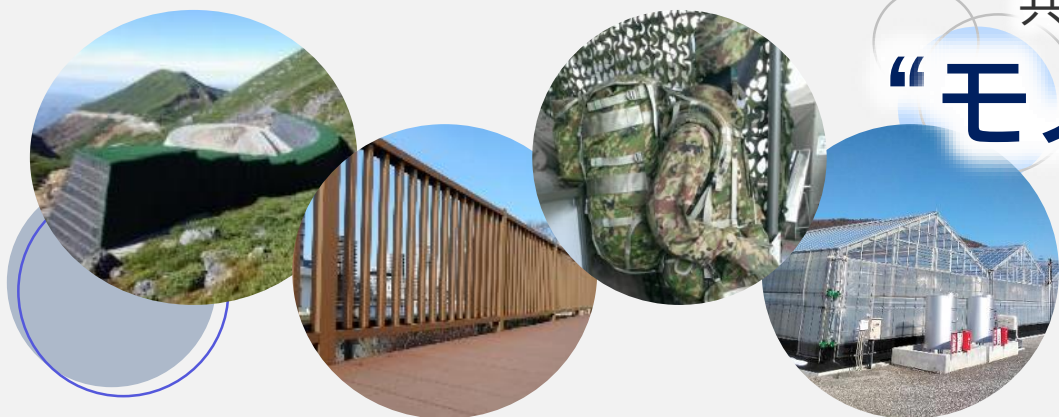


グループ事業内容

ソーシャルインフラ事業

「防災・安心・安全」をキーワードに、生活の基盤となる建設・農水産業に携わる製品を製造・販売

社会のインフラづくり



取扱製品

土木資材、建築資材、各種不織布、外壁用防水・保護・仕上げ材、
獣害対策製品、園芸用ハウス・農業資材、防衛省天幕、装備品、
フィッシュミール・魚油等

インダストリーインフラ事業

産業に携わる製品の製造・加工・販売を通して、より豊かな暮らしづくりに貢献

産業のインフラづくり



取扱製品

自動車用高級鍛造ホイール、精密機器製造用ワイピングクロス、
各種繊維の加工、丸編製品等

前田工織グループ

ソーシャルインフラ事業



インダストリーインフラ事業



前田工繊 は **混**ぜる会社です

「人」と「技術」を混ぜる会社です
混ぜると 化学反応が 起きるのです
「イノベーション」は化学反応の「果実」

世界一のイノベーターを目指し
社会のあるべき姿 人間のあるべき姿を
追い求めていきます

企業理念

基本理念

人と人の良いつながりが
すべての基本であり目標です。

経営理念

私たちは 独自の知恵と技術で
持続可能な地球 そして
安心・安全で豊かな社会を創るために
貢献してまいります。

行動理念【MDK五徳】と【仁】

【知行合一】

1. 人も企業も「真っ直ぐ」生きよう。

義

2. 失敗を恐れず、無限[∞]の可能性に挑戦しよう。

勇

3. 現場へ出て、本質を見抜き、本気で変えよう。

信

4. どこにもないモノを、どこにもない方法で、創り出そう。

智

5. 人も企業も学び続けよう。

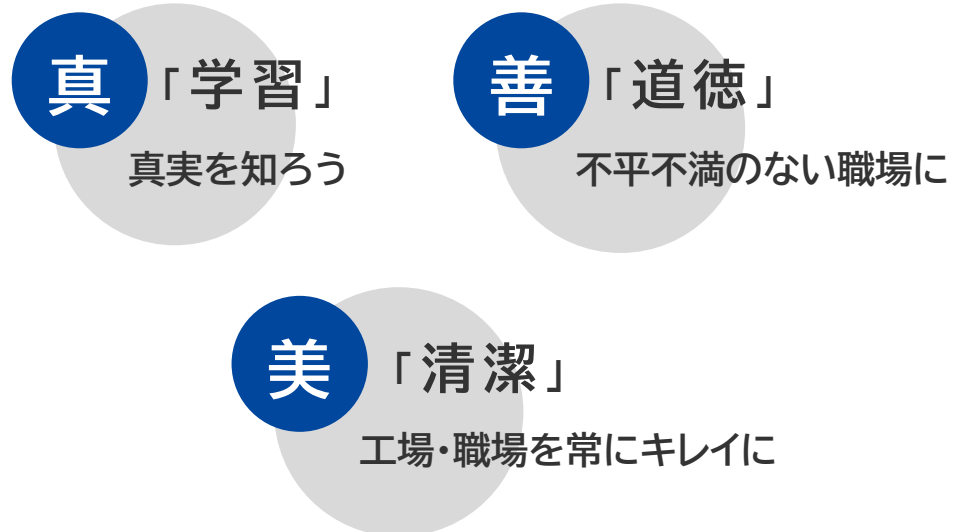
礼



行動指針・判断基準

行動指針

「真・善・美」の整った会社(組織)づくりへ

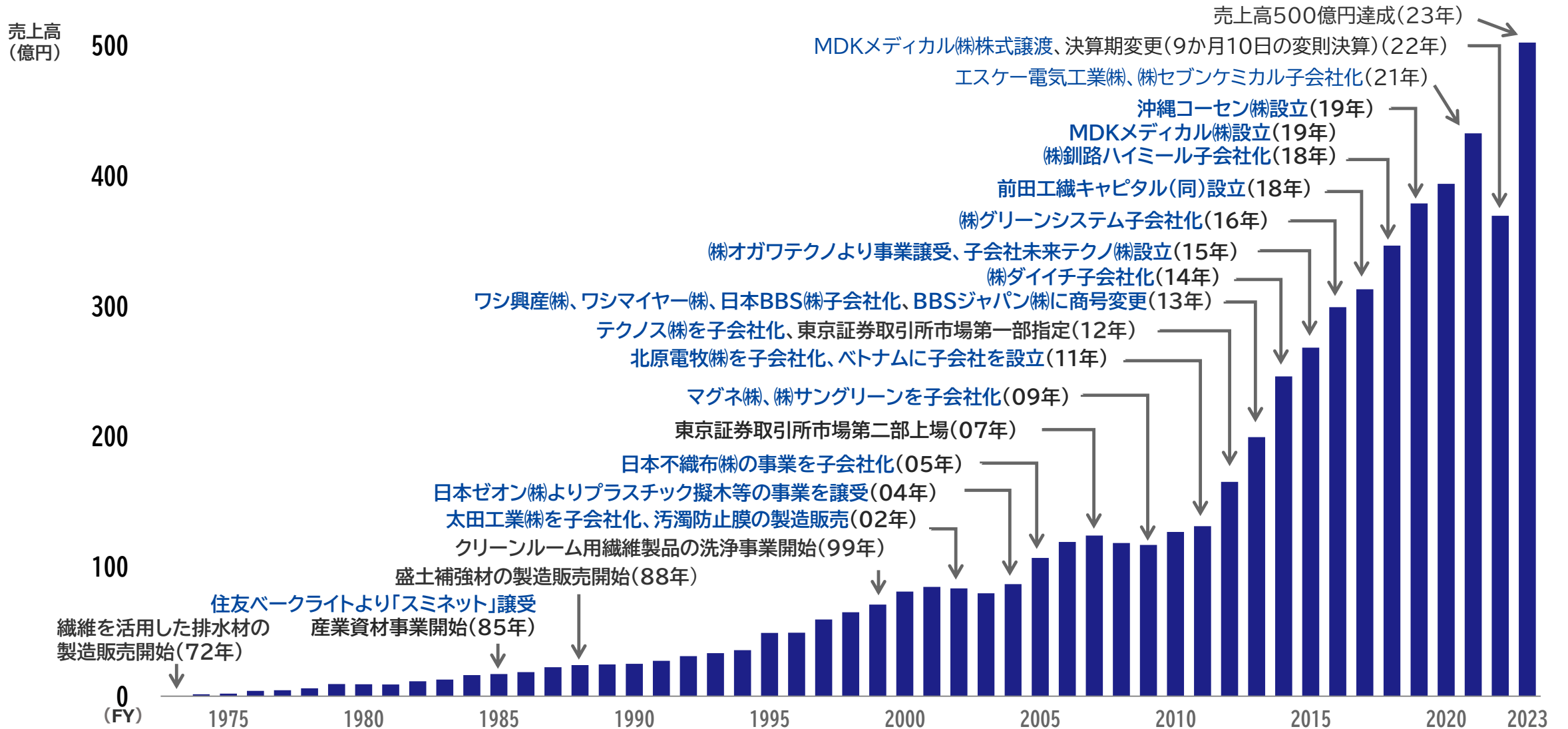


判断基準

「SSLQDC」～ この優先順位で判断・行動しよう ～

- 1 Safety** 人の安全と健康
- 2 Society** 地域社会への貢献
- 3 Law** コンプライアンス・法令順守・環境保全
- 4 Quality** 品質・信頼性
- 5 Delivery** 納期厳守
- 6 Cost** コスト削減

事業沿革と売上高推移



前中期経営計画

2

グローバルビジョン∞
- PART I -の振り返り



業績達成状況(2020年9月期～2023年6月期)

	2019年9月期	2023年6月期(最終年度)		達成状況
	実績	計画	実績	
売上高	378 億円	500 億円	502 億円	○
営業利益	53 <small>営業利益率 14.1%</small>	80	84 <small>営業利益率 16.9%</small>	○
EBITDA	71	100	116	○
経常利益	53	80	86	○
親会社株主に帰属する 当期純利益	40	54	52	△

主要戦略

-PART I - 重点施策

既存事業の強化 新規事業進出



既存事業

- BBSに大型設備投資
- ソーシャルインフラ事業に新規設備

新規事業

- セブンケミカル子会社化 ⇒ 建築防水塗料分野進出
- ヘルスケア分野に参入
 - ・ マスク・ガウン等の繊維系医療製品を製造・販売開始
 - ・ 高度医療機器事業はライセンス元に売却

M&A活用



- 期間中のM&A実績…3件
- 年間200件以上のM&A案件を検討する体制を構築

グローバル ネットワーク拡充



- ベトナム子会社(土木資材)とドイツ子会社(自動車用ホイール)で工場を増設
- ヒューズカー社(ドイツ/シンガポール)と販売提携
- F1®・NASCAR®へホイール独占供給開始

設備投資額

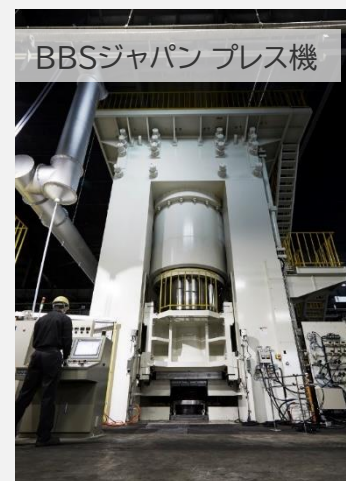
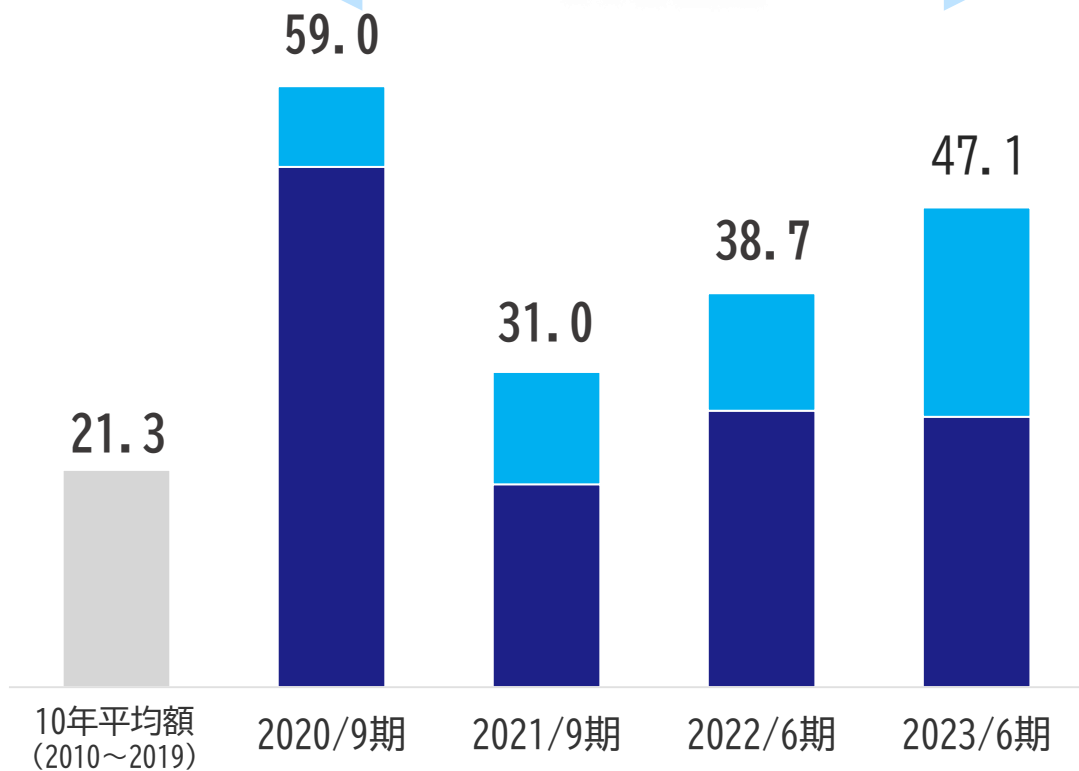
■ ソーシャル
インフラ事業

■ インダストリー
インフラ事業

(単位:億円)

PART I 累計投資額

176 億円



※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

3 今後の事業環境と長期ビジョン



パーパス経営の実践

“地域社会の発展を支える企業に”

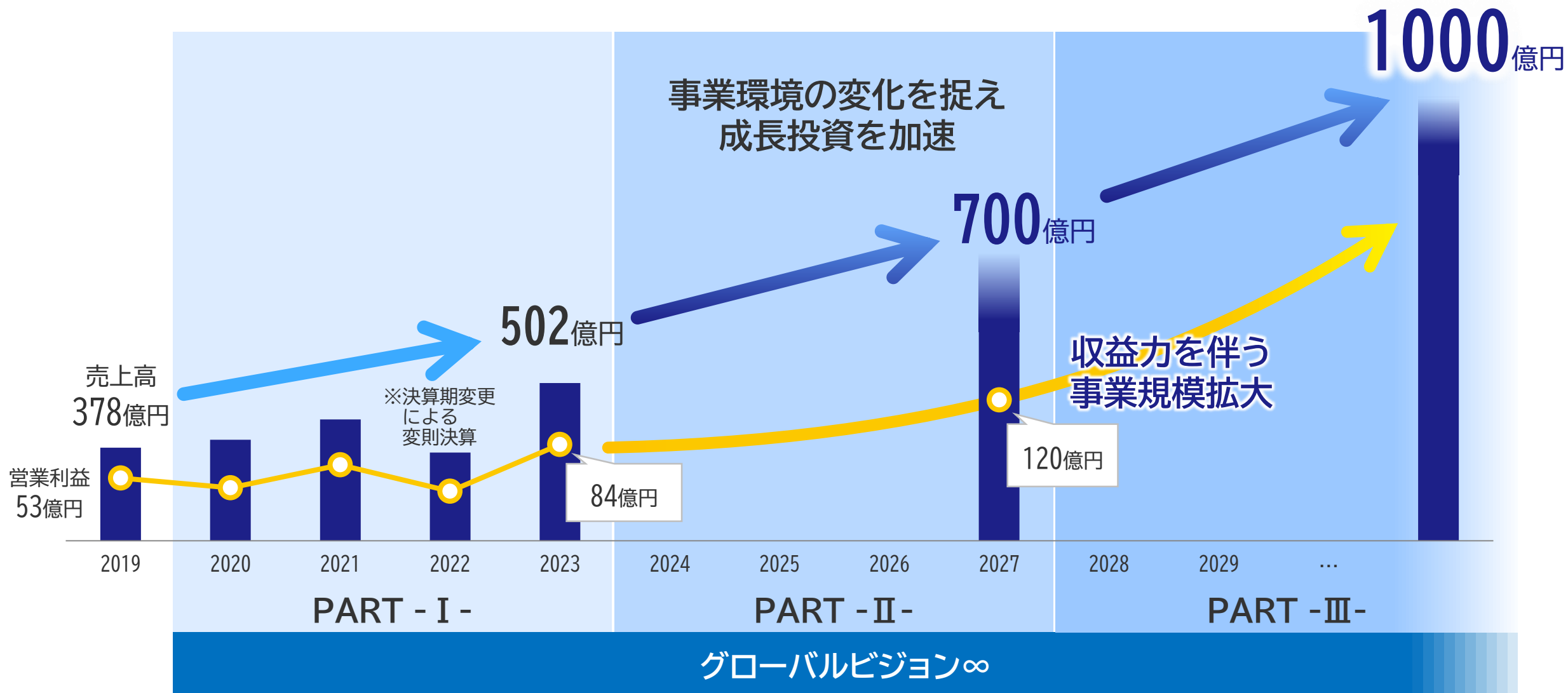
前田工織グループのパーパス

- 地方を元気に！
- 世の中の課題をモノで解決
- ESG+H & SDGs

パーパスとビジョン・ミッション・バリューの関連イメージ



成長目標



今後想定される事業環境の変化



業界再編圧力
の高まり

グローバル進出が
企業存続の条件

社会課題への
取組み必須

長期ビジョン

“地域社会の発展を支える企業に”

国土強靱化

我が国のインフラを守り
安心・安全な生活を支える

- インフラの維持・整備
- 防災・減災
- 都市再開発
- 再生可能エネルギーの推進
- 農業農村整備(農業水利施設、
鳥獣害等)
- 自衛隊インフラ基盤・施設の強化

海外展開

地方独自の技術を
世界に提供する

- 販売地域、海外拠点の拡大
重要エリア:ASEAN諸国
- 海外のニーズに応じた製品開発
- グローバル人材の育成・採用
- PART-Ⅲ (2028年～) で
海外売上比率50%以上

地方創生

地方経済圏の
成長に貢献する

- グループ会社化した地方の企業
を地域の優良企業に成長させる
- 既存事業の営業拠点・製造拠点
の拡充
- 地域独自の課題を解決する
事業展開

中期経営計画

4

グローバルビジョン∞

- PART II - 数値目標

数値目標(2024年6月期~2027年6月期)

	2023年6月期 実績
売上高	502 億円
営業利益	84 億円
E B I T D A	116 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	52 億円
R O E	12.4 %



	2027年6月期 計画
	700 億円
	120 億円
	150 億円
	80 億円
	12 %以上

創出する資金の投資と株主還元への配分方針

- 創出する資金を積極的に成長投資（設備投資とM&A）に活用
- 成長投資により増益を実現し、増配を継続的に実施

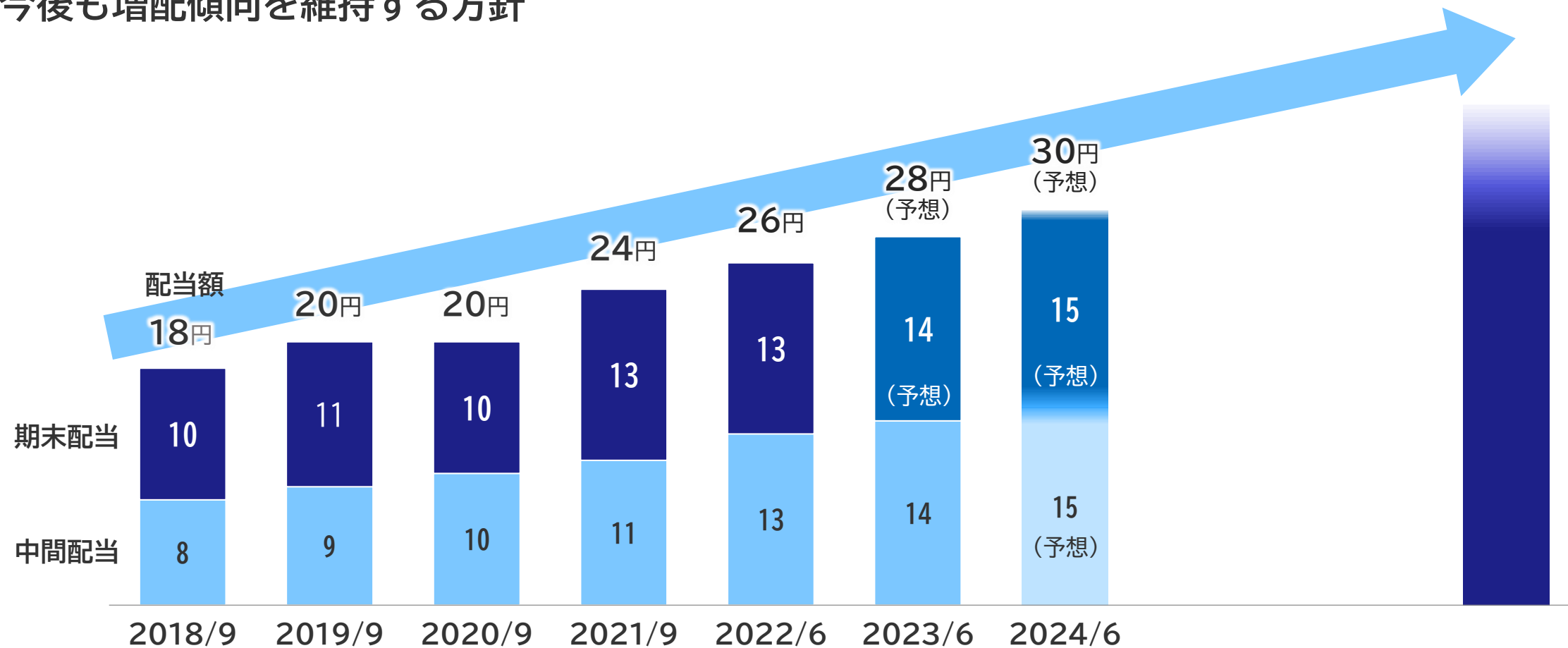
(単位:億円)



※PART-Ⅱ-期間(2024年6月期～2027年6月期)中の合計額(見込み)

株主還元策

- 上場（2007年）来、通期配当額で一度も減配なし
- 今後も増配傾向を維持する方針



※ 2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

中期経営計画

5

グローバルビジョン∞

- PART II - 主要戦略

主要戦略

グローバルビジョン∞ 主要戦略

既存事業の強化
新規事業進出



M&A活用による
事業領域拡大



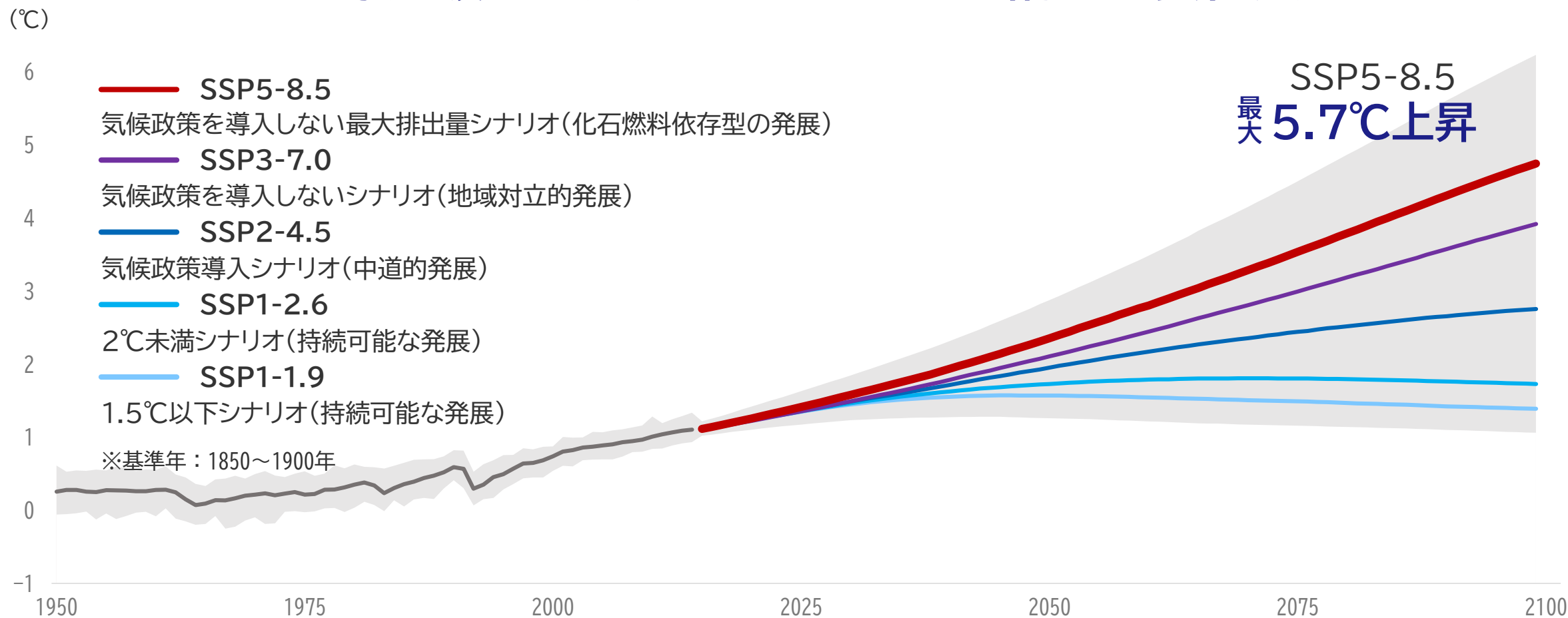
グローバル
ネットワーク拡充



ESG + H

地球温暖化

地球温暖化に対応したインフラ整備の必要性大

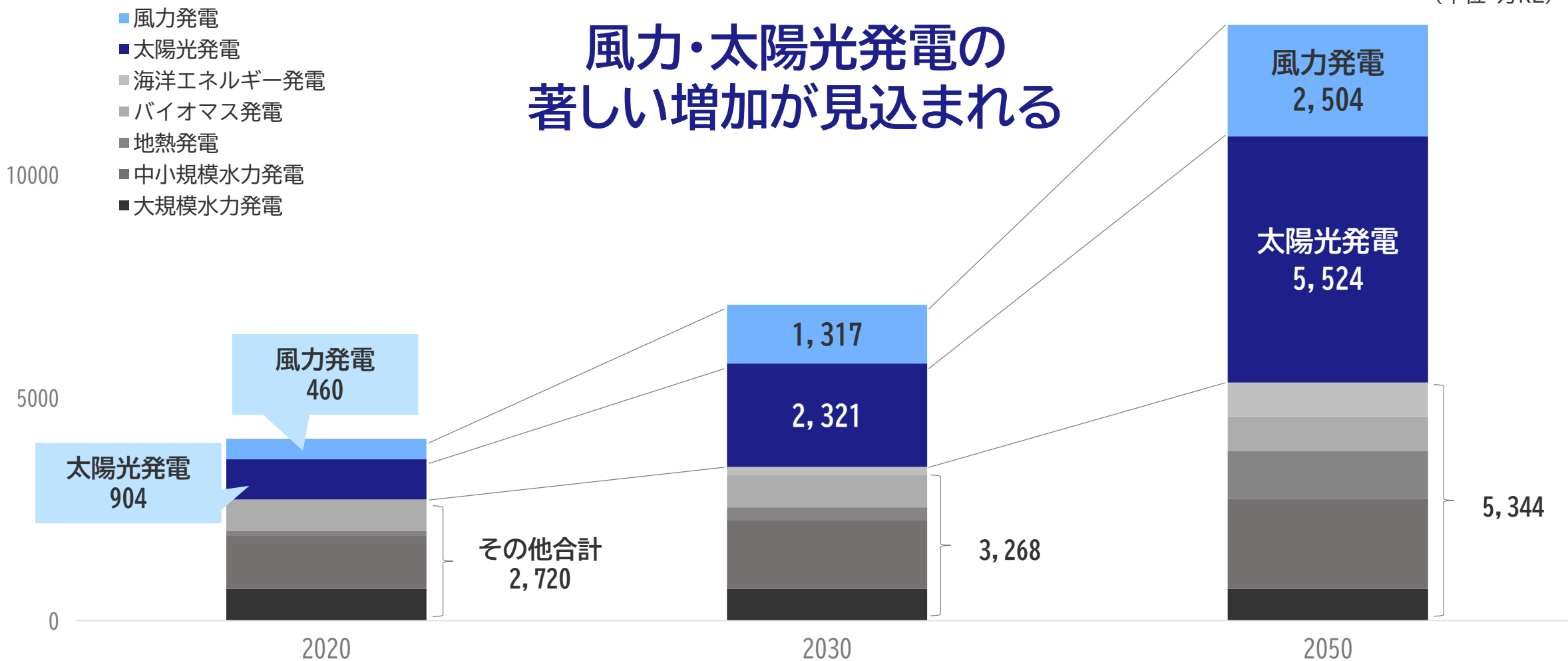


※IPCC第6次評価報告書を参考に当社作成



再生可能エネルギーの導入見込量(一次エネルギー供給量)

(単位:万kL)



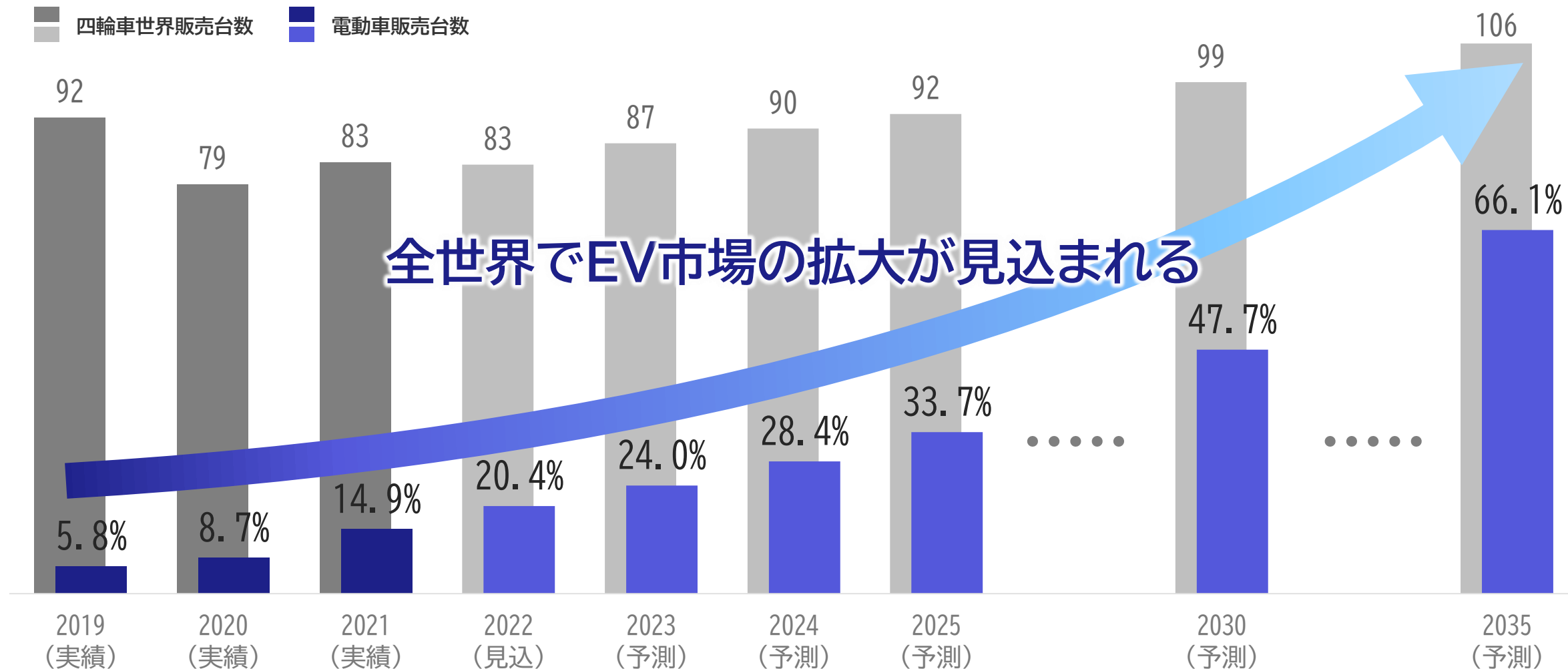
※環境省作成資料を参考に当社作成

EV販売台数及び普及率の推移(予測)

(単位:百万台)

■ 四輪車世界販売台数

■ 電動車販売台数



※矢野経済研究所作成資料を参考に当社作成

※電動車にはHEV(ハイブリッド車)、PHEV(プラグインハイブリッド車)、BEV(電気自動車)、FCEV(燃料電池車)を含む



高級自動車主要メーカー別販売実績

(万台)

300

200

100

0

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

BMW

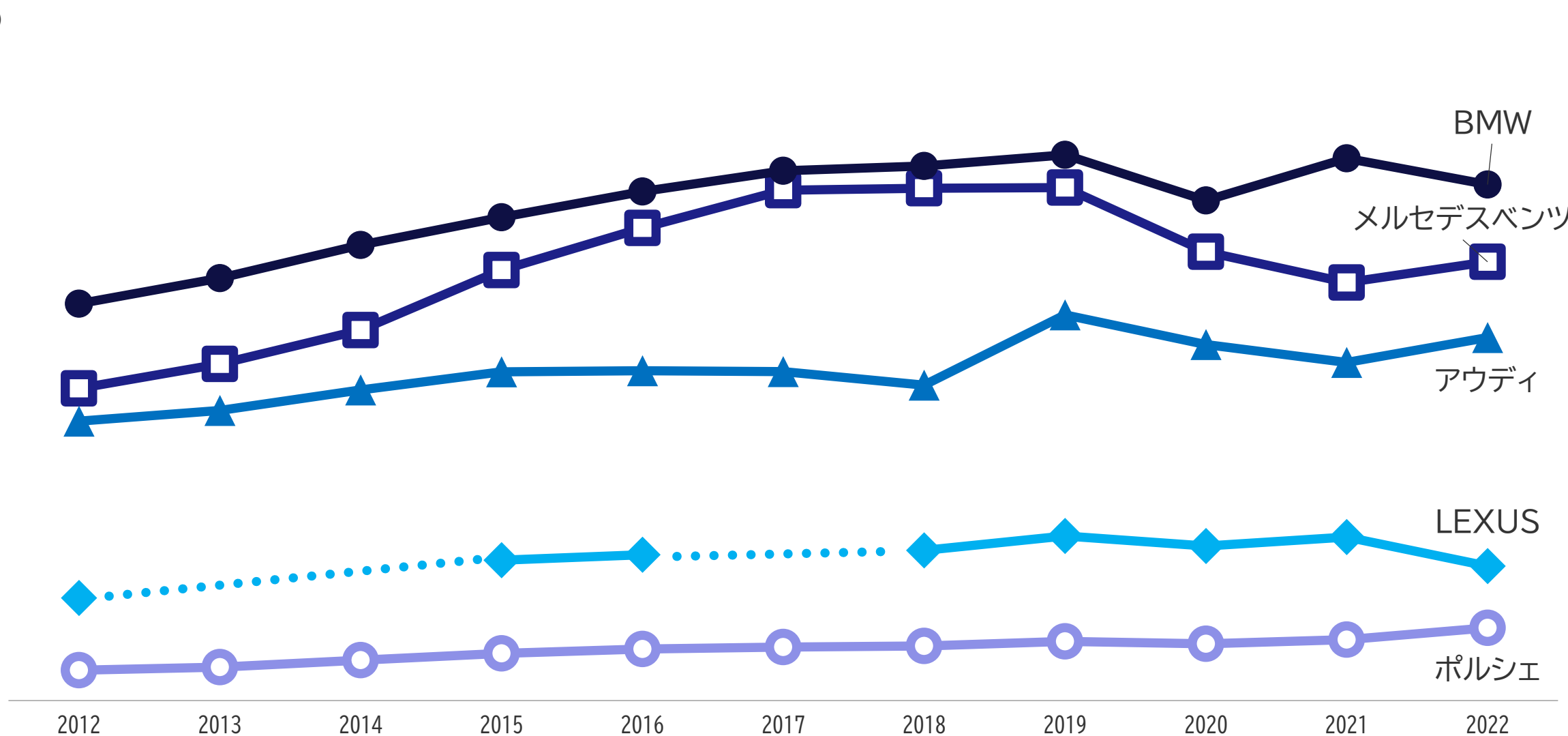
メルセデスベンツ

アウディ

LEXUS

ポルシェ

※公表資料を参考に当社作成



設備投資・生産合理化・研究開発

設備投資

成長分野への設備投資 … 4年間で**150億円**



生産合理化・省力化

- 設備投資による生産性向上(自動化、省力化)
- 多能工化による生産効率化
- グループ全社を対象とした製造部改善発表会
- BBS 生産合理化プロジェクト

研究開発

国土強靱化関連分野

1. 自然災害に対する防災・減災
2. インフラ構造物の老朽化
3. 防衛関連設備の整備
4. 鳥獣害被害対策

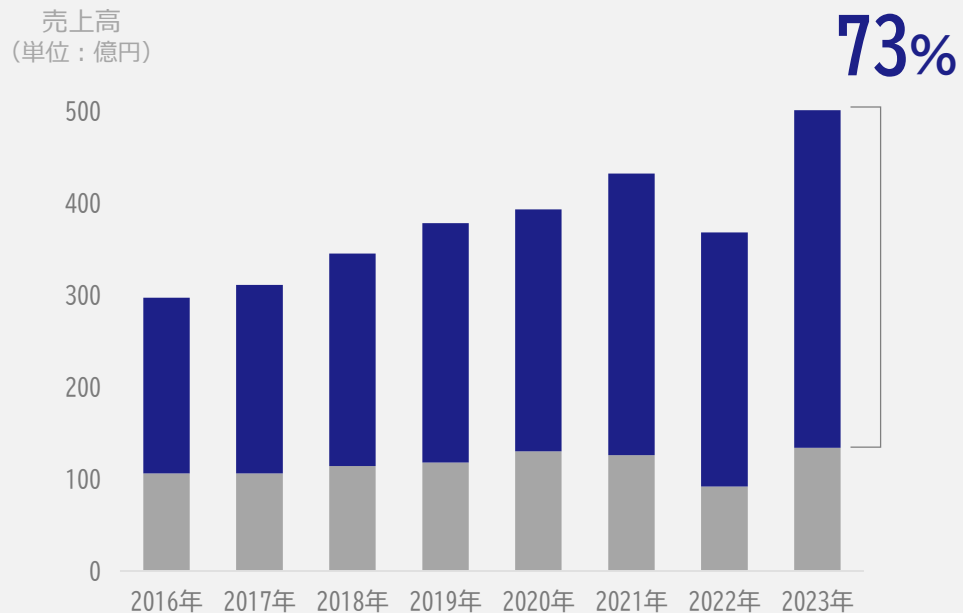
GX(グリーントランスフォーメーション)関連分野

1. 再生可能エネルギー関連製品
2. 次世代自動車(EV他)向けの資材開発(ホイール・不織布)
3. リサイクル原料を使用した製品
4. 環境に優しい素材の積極活用

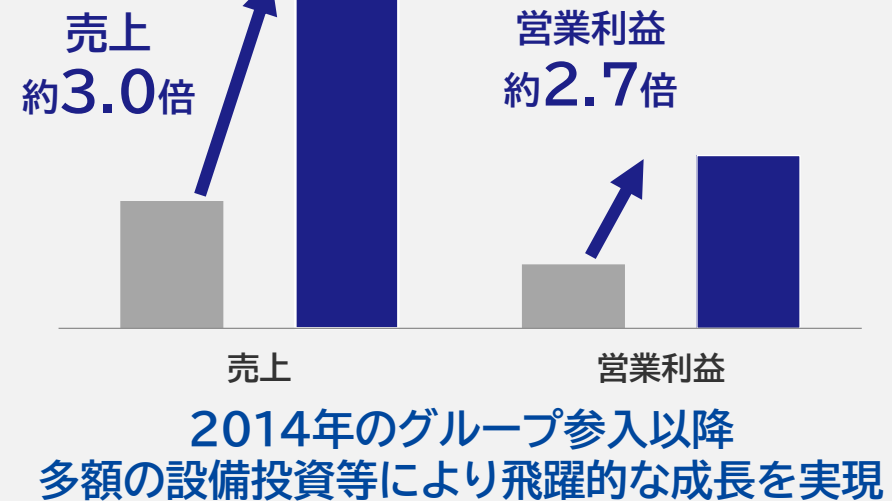
M&A実績

- 累計17件のM&Aを実施、全案件で買収時より業績が拡大
- 連結売上高のうち73%がM&Aした事業の売上
- BBSジャパンと釧路ハイミールで飛躍的な成長を実現

連結売上高に占めるM&A事業の割合



BBSの投資成果



M&Aの活用

4か年間で**200億円**のM&A投資枠を設定、M&Aの実現で成長を加速

M&A方針

Target 原則「モノづくり」の会社、特別な技術・製品がある会社

PMI 凡事徹底 × 「混ぜる」

重点領域

既存事業の強化

新規事業の創出

既存事業同業

土木・建築資材、鳥獣害対策、園芸用ハウス、ブランド力を有する自動車部品

既存事業周辺

土木工事(法面、橋梁メンテナンス)、土木建築関連・農業関連資材、繊維関連製品

新規事業

ニッチトップ企業、官公庁関係向け事業、ヘルスケア、スポーツ、ペット用品

海外

土木・建築資材、ASEAN

- 生産現場の整理整頓・安全対策
- 適切な設備投資
- 継続的な生産改善活動
- 数値・成果の見える化
- 月次会議体制の整備
- 経営人材の提供

親子関係ではなく
対等なパートナー
として協力関係
を構築

グループの
人、モノづくり、
技術、ネットワーク
を「混ぜる」

グローバル展開拡大

地方独自の技術を世界に提供する

2027年6月期目標
海外売上比率
30%

BBS Motorsport GmbH
BBSジャパン(株)ドイツ子会社

自動車ホイール事業

BBSジャパン

- F1®、NASCAR®への独占供給を活用した海外マーケティングの強化

BBS MS(ドイツ)

- アフターマーケット向け営業力強化
- 従来の英国、ドイツ以外の海外自動車メーカーでのOEM供給先拡大
- 新工場稼働による業容拡大およびクイックデリバリー

Japan

MAEDA KOSEN VIETNAM
(前田工織ベトナム有限公司)

土木・建築資材事業

前田工織

- 土木・建築資材の輸出品目 & 地域拡大

前田工織ベトナム

- 製造拠点の増強、生産品目の多品種化
- ASEAN諸国への営業強化
⇒ 海外代理店網の拡大(業務提携)

ESG + H施策 - ESG

Environment - 環境

CO2排出量の削減

- 太陽光発電システムの利用拡大

産業廃棄物の削減

- 産業廃棄物のリサイクル強化
- リサイクル原料を使用した製品づくりの強化

Social - 社会

地方創生

M&A等を活用し、様々な問題を抱える地方のモノづくり企業を、当社グループの経営資源と「混ぜる」ことで地方を活性化

Human 人材



Governance - ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの強化

- 取締役会の実効性評価における課題への対応
- コンプライアンス研修の充実

ESG + H施策 – Human(エンゲージメント)

人的資本への投資

- 継続的な賃上げに加え、学べる機会と自己成長を実感できる環境を提供
- 全社員が企業価値の向上を目指し、その成果をともに分かち合う制度を導入

手挙げ文化



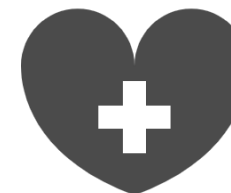
- グループ内転職、多能工化
- 社外研修の受講
- 新規事業・企画提案
- 社内表彰制度の充実

リスキリング



- 研修制度の充実
- グローバル人材育成
- デジタル教育の強化
- 報奨金、学習補助制度導入

健康経営



- 健康経営優良法人を継続
- 「喫煙者ゼロ」「定期健康診断・再検査・要治療 受診率100%」
- 福利厚生制度の充実

本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予想は本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ先

前田工織株式会社 福井広報部

TEL:0776-51-9577 / URL:<https://www.maedakosen.jp>